

2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績 (2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	8,284	△12.6	38	△81.9	△50	—	△52	—
2020年5月期第1四半期	9,483	31.9	213	49.7	138	66.1	67	114.0

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 △69百万円 (—%) 2020年5月期第1四半期 84百万円 (81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	△35.75	—
2020年5月期第1四半期	45.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	27,035	6,293	21.8	4,042.02
2020年5月期	27,434	6,392	21.8	4,097.80

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 5,894百万円 2020年5月期 5,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期 (予想)	—	0.00	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想 (2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	21,100	0.8	290	△44.7	128	△65.7	90	△61.4	61.72
通期	50,000	32.9	1,340	113.6	1,000	218.4	630	427.0	432.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	1,480,000株	2020年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	21,778株	2020年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	1,458,222株	2020年5月期1Q	1,458,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

愛知県の地価調査では、平均変動率が住宅地は9年ぶり0.7%の下落、商業地では8年ぶりの1.1%の下落となりました。リニア中央新幹線の開業延期が懸念されるものの、経済影響の期待感は強く、名古屋駅及び栄駅周辺の開発が進んでおります。また、新設住宅着工戸数は、増加基調が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により着工数が減少しております。しかしながら、分譲住宅の市場在庫は依然として高い水準であり、激しい競争は継続すると考えております。

② 当社の取り組み

- 商品開発は、当社の岐阜工場を中心とする工業化インフラを活用した独自建材を中心とした開発に注力し、個と街並みを意識したデザイン性の向上に取り組みました。他社と差別化された商品を評価いただくことにより、利益率の改善に繋げているものと考えております。
- 営業上は、工場見学会をオンライン上で行う等、WEBメディアを利用したオンラインでの情報発信を強化しております。当社及び当社の住宅商品を広く認知いただくことによりオンライン商談を促進する等、お客様との接点を増やし、販売戸数を増加させてまいります。
- 商品住宅として更に工業化と規格化を推進することにより事業工期を短縮するとともに、岐阜工場を物流拠点とした配送コストの削減等、品質向上とコストダウンを徹底いたします。
- 余暇事業において、2020年3月から開始した「ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部」のナイター営業が好調に推移しております。リーズナブルな価格でゴルフを楽しんでいただける環境を提供することにより、若年層の利用を促進し、ゴルフ業界の発展へ寄与してまいります。
- 2020年8月に不動産特定共同事業の免許を取得いたしました。都市事業への取り組みと不動産小口化商品を一般投資家に提供することで地域経済の活性化に貢献してまいります。

③ 当第1四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常損失	親会社株主に帰属する四半期純損失
当第1四半期実績	8,284百万円	38百万円	△50百万円	△52百万円
前年同期比	12.6%減	81.9%減	—	—

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第1四半期実績	220戸	220戸	—
前年同期実績	237戸	237戸	—
前期実績(通期)	961戸	945戸	1棟16戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	7,863百万円	189百万円	販売戸数が減少し、売上高及び利益が減少。
前年同期比	9.5%減	34.8%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	350百万円	21百万円	「ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場」の新型コロナウイルス感染症による臨時休業に伴い、売上高及び利益が減少。
前年同期比	40.8%減	74.4%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第1四半期実績	76百万円	△1百万円	新型コロナウイルス感染症により休業した商業施設等の設備管理収入の減少により、売上高及び利益が減少。
前年同期比	19.8%減	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第1四半期実績	6百万円	4百万円	宅地販売が減少し、売上高が減少。
前年同期比	95.2%減	—	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して398百万円減少し、27,035百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、工事未払金及び借入金金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較して299百万円減少し、20,742百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して99百万円減少し、6,293百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月15日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,169,359	4,743,612
完成工事未収入金	44,367	9,218
売掛金	279,798	209,852
販売用不動産	9,644,488	7,659,932
仕掛販売用不動産	7,189,997	6,904,188
商品及び製品	305,904	321,277
未成工事支出金	1,415,168	1,635,107
仕掛品	153,194	134,445
原材料	116,189	251,397
その他	445,632	359,766
流動資産合計	22,764,099	22,228,798
固定資産		
有形固定資産	3,951,408	4,035,727
無形固定資産	125,971	115,017
投資その他の資産	592,831	656,065
固定資産合計	4,670,211	4,806,810
資産合計	27,434,310	27,035,608
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,534,628	1,176,587
買掛金	283,903	393,331
1年内償還予定の社債	214,000	316,000
短期借入金	11,927,222	11,544,563
1年内返済予定の長期借入金	1,702,612	1,622,814
未払法人税等	73,144	6,746
賞与引当金	112,712	59,920
完成工事補償引当金	121,329	116,438
その他	640,035	596,136
流動負債合計	16,609,588	15,832,540
固定負債		
社債	404,000	1,027,000
長期借入金	2,717,051	2,655,532
退職給付に係る負債	2,691	3,331
役員退職慰労引当金	164,601	152,517
資産除去債務	30,588	30,640
その他	1,113,624	1,041,029
固定負債合計	4,432,556	4,910,051
負債合計	21,042,145	20,742,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,453,845	5,372,554
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,976,165	5,894,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△712
その他の包括利益累計額合計	△669	△712
非支配株主持分	416,670	398,854
純資産合計	6,392,165	6,293,016
負債純資産合計	27,434,310	27,035,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	9,483,829	8,284,802
売上原価	8,373,009	7,405,595
売上総利益	1,110,819	879,207
販売費及び一般管理費	896,952	840,535
営業利益	213,866	38,671
営業外収益		
受取利息	389	390
受取手数料	5,730	3,992
補助金収入	6,648	—
助成金収入	—	4,699
その他	6,663	6,163
営業外収益合計	19,431	15,245
営業外費用		
支払利息	81,885	82,307
その他	13,370	22,374
営業外費用合計	95,256	104,681
経常利益又は経常損失(△)	138,041	△50,764
特別利益		
助成金収入	—	4,434
特別利益合計	—	4,434
特別損失		
固定資産除却損	—	4,524
臨時休業による損失	—	72,790
特別損失合計	—	77,315
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	138,041	△123,645
法人税等	53,394	△53,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,646	△69,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17,642	△17,815
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	67,003	△52,126

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,646	△69,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149	△42
その他の包括利益合計	△149	△42
四半期包括利益	84,496	△69,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,853	△52,168
非支配株主に係る四半期包括利益	17,642	△17,815

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

会計上の見積りにあたっては、HOTELWOOD高山については、2021年5月期は一定の売り上げ減少があるものの、住宅事業やゴルフ場等への影響は限定的であると仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の判定を行っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	8,684,997	590,814	80,175	127,841	9,483,829	—	9,483,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	440	15,759	377	16,577	△16,577	—
計	8,684,997	591,255	95,934	128,218	9,500,406	△16,577	9,483,829
セグメント利益又は損失 (△)	290,111	82,078	7,137	△1,247	378,079	△164,212	213,866

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,212千円には、セグメント間取引消去6,386千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,599千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	7,863,374	350,141	65,181	6,105	8,284,802	—	8,284,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	99	11,786	—	11,886	△11,886	—
計	7,863,374	350,240	76,968	6,105	8,296,688	△11,886	8,284,802
セグメント利益又は損失 (△)	189,072	21,018	△1,495	4,623	213,219	△174,547	38,671

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅地販売、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△174,547千円には、セグメント間取引消去7,844千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,391千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。